



介 TROUPE VERTI
GO. サーカス学校の
スケジュールは以下から。
<http://www.cirqueschoola.com/>

世界中のラグビーファン & お祭り好きが香港に大集合!

「香港に入るよ」「セブンス行くの?」
という会話を季節の挨拶のようにあちこちで聞ける。これは1976年に始まった、毎年3月に開催される香港ラグビーのラグビー観戦のことである。セブンスは7人制で7分間ハーフ、合計14分間の試合時間なので、お馴染みのラグビーに比べるとかなりスピーディーなものである。

観客のみならずのお自当の席は香港スタジアムの南側にある、18歳未満は立ち入り禁止の観戦席、サウススタンド。早い者勝ちの自由席なので、早朝から駆け付け、朝食の野菜ジュース代わりにビールの一気飲みをしたりするものだから、昼前には酔っ払いの集団になる。しかもこの人たちが、かなりユニークな格好をしているのだ。ス

ーパーマン、バットマン、スパイダーマンのスーパーヒーロー系からバンダヤバナナなどの着ぐるみまでおじさんたち。キャットウーマンやナースなど、露出度の高いビッチビチ衣装をつけるおねえさんたち。

この時とはかりに網タイツをはき、女装を楽しんでいるおじさま軍団は1リットルビールのコップを片手に歌ったり、席に立って踊ったり。必死に戦っている選手たちに申し訳ないけど、誰もラグビーなんて観ていない。試合後はそのまま繁華街へ流れ、お祭り騒ぎはさらにヒートアップする。週末の3日間アルコール漬けになった後、ふと我に戻り、彼らは来年の衣装を再び考え始めるのである。

約4万人収容できるスタジアム。チケットは発売開始後1時間で完売するほど大人気。



「男のこが美直に憧れるサーカス団」
一晩では身につかない技をいとも簡単にそうやってのける人たちがいた。でも技術も命綱も必要だし、と自分がそれをやることなどほとんど諦めていたところが、そんな技を覚えてくれるサーカス学校がロサンゼルス街の街中であつた! つまり、仕事終わりに「ちよつとフランクを」なんて消え方もできちゃうのだ。そんな場所を運営しているのが、トルーパー・ヴァーティゴという本物のサーカス団だ。近年は動物愛護の観点からも難しくなった動物の芸に頼ることなく、彼らのステイジでの演技は鍛錬した人間の身体性を強調する。それはパフォーマーのアロイス・ガーワールと一緒に団を立ち上げたレックス・カンブリスがシルク・ド・ソレイユ出身だからかもしれない。

それにメンバーの一人がサーカス学校に通っていた、ハウス・バンドにナイトメアーズ・アンド・ザ・キャッツが加わったことから、ストリートテイスの最新型ロック・サーカスが誕生した。そんなサーカス団ならぜひ一緒に練習してみたい。●江口研一(文筆家)

7 温泉大国

火山の国、アイスランドでは温泉や地熱を利用した温水プールが、人々の交流の場として長年大切にされてきたらしい。そのこだわりの強さは「濃厚なアイスランド人を惹きつけるにはプールに間違った入り方をする事だ」とガイド本に書いてある程。いざ入ってみると壁には沢山の注意書き! 5か国言語で「水着着用前に必ず体を良く



アイスランドの温泉は温度が高めで日本人好み。とはいえ、外の寒さは半端ないので要注意。

アイスランド。こだわりの鉄則と驚きの忍耐力!

洗うこと。確かにシャワーエリアには念入りに体を洗う人達の姿が……。「観光客だけとちゃんとルールを守ってますよ!」と全身を泡だらけにして緊張のアピール。オツケー!

併設の気泡風呂で温まりながらフレンドリーな地元民と言葉を交わす。街によって施設も雰囲気も違うため、観光よりも毎晩のプールの方が楽しみに

なり、自然と入り方も完璧にマスター。アイスランド人に仲間入りした気分です。で迎えた最終日、温泉の入口で「今日は機械の不調でお湯がぬるいから半額でいいわよ」と言われた。ラッキー! いつもの様に泡まみれのアピールで準備万端。ここは露天風呂で外が寒いので急いで飛び込んだ。ひいひい!! なんと体温以下の冷水!! 歯をガチガチと鳴らす私におはさんが「今日は少ししめるかしらね?」と真つ青な唇で余裕の微笑、エーツ? 半額でも人を入れちゃいけない温度でしょ! 体を洗うのも大事だけど、これこそ激怒していいんじゃないの!? 結局すぐに戻り出た私に、アイスランド人の仲間になど全く入れていないかつ。

●井口花子



WANTED

スーパー大学生を捜せ!
バックを背負い砂漠を駆け抜ける大学生!?

ボパイ編集部バイトの土屋です! いまは世界最大のランニング大会「サハラマラソン」にご参加です。4月3日から、松山くん(東京外国語大学)が、100kmの食料や寝袋を背負い「サハラ砂漠500km走破」に挑みます! 「一度きりの人生、とことんやり切りたい!」と語る松山くんは、一日の寒暖差が約10度、支給は水だけ……、などガチでハードな大会への挑戦を昨夏決意。マラソンは素人だった彼は毎日10km走り込み、フルマラソンも走破済み。そして今、サハラマラソン日本代表に選ばれた! 「生きて帰ります」と語る松山くんのこれからが気になるキミは、TwitterでSaharaTakashiをフォローして!



こちらはスーパー大学生という人はボパイ編集部 03-3545-7160に連絡を!